

## 令和5年度（2023年度）北海道ふるさと・水と土指導員名簿

令和5年5月 現在

No.	局名	市町村名	氏名	職業等	主な活動	推薦者	任期	備考
1	空知	岩見沢市	小西 泰子	農業	地域活動全般	市長	令和6年3月31日	
2	空知	三笠市	赤坂 卓也	農業	地域活動全般	市長	令和6年3月31日	
3	空知	栗山町	金丸 大輔	地方公務員	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
4	空知	栗山町	菅野 義樹	農業	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
5	空知	沼田町	池内 孝司	団体職員	環境整備指導等	町長	令和6年3月31日	
6	石狩	札幌市	高瀬 徹	会社員	環境整備活動等	土地連	令和8年3月31日	
7	石狩	石狩市	阿岸 哲広	改良区職員	環境整備指導等	土地連	令和6年3月31日	
8	後志	蘭越町	黒川 利光	農業	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
9	胆振	厚真町	尾谷 純司	改良区職員	環境整備指導等	土地連	令和6年3月31日	
10	胆振	洞爺湖町	青山 伸子	農業	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	
11	日高	日高町	田中 義光	農業	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	
12	日高	浦河町	中川 貢	団体職員	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
13	日高	浦河町	以西 明美	自営業	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	
14	日高	浦河町	西 利明	改良区職員	環境整備指導等	土地連	令和6年3月31日	
15	渡島	知内町	佐藤 暁樹	住職	自然観察指導	町長	令和6年3月31日	
16	渡島	知内町	笠松 悦子	農業	農産物加工販売等	町長	令和6年3月31日	
17	渡島	七飯町	田中 いずみ	会社役員	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
18	渡島	八雲町	小林 石男	農業	地場産品加工直売	町長	令和6年3月31日	
19	檜山	江差町	小笠原 明彦	団体嘱託員	農村景観・農作業体験指導	土地連	令和7年3月31日	
20	檜山	上ノ国町	吉見 俊彦	無職	農村環境・景観保全活動等	土地連	令和8年3月31日	
21	檜山	厚沢部町	佐々木 俊司	会社役員	地域活動全般	土地連	令和6年3月31日	
22	檜山	せたな町	富樫 一仁	農業	地域活動全般	土地連	令和7年3月31日	
23	上川	幌加内町	中村 雅義	農業	地域活動全般	土地連	令和6年3月31日	
24	上川	鷹栖町	中江 正博	改良区職員	地域活動全般	土地連	令和7年3月31日	
25	上川	当麻町	小野寺 孝一	無職	地域活動全般	土地連	令和6年3月31日	
26	上川	上川町	辰巳 明美	農業	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
27	上川	中富良野町	久保 照美	花卉卸し販売	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
28	上川	南富良野町	岩永 かずえ	農業	農産物地産地消活動等	町長	令和8年3月31日	
29	上川	南富良野町	鷹嘴 充子	会社役員	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
30	上川	南富良野町	小野 寿樹	地方公務員	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
31	上川	南富良野町	大光明 宏武	地方公務員	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	新規
32	留萌	小平町	長澤 政之	地方公務員	自然体験指導	町長	令和7年3月31日	
33	留萌	小平町	高野 幸子	農業	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
34	留萌	苫前町	福田 怜也	改良区職員	環境整備活動等	町長	令和8年3月31日	
35	宗谷	稚内市	加藤 八重子	農業	地域活動全般	市長	令和6年3月31日	
36	宗谷	豊富町	嘉藤 慎	会社員	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	新規
37	林-ツ	北見市	馬淵 陽子	農業	農産物直売等	市長	令和6年3月31日	
38	林-ツ	北見市	黒須 倫子	農業	地域活動全般	土地連	令和6年3月31日	
39	林-ツ	美幌町	午来 博	地方公務員	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	
40	林-ツ	津別町	佐野 多希子	農業	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	
41	林-ツ	清里町	柳谷 亜紀子	農業	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
42	林-ツ	湧別町	久保 美恵子	酪農業	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	
43	林-ツ	興部町	仲元寺 恒平	団体職員	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
44	林-ツ	雄武町	石井 恭子	会社員	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
45	十勝	帯広市	伊藤 由紀子	酪農業	地域活動全般	市長	令和7年3月31日	
46	十勝	鹿追町	高橋 貴子	会社員	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	
47	十勝	本別町	岡崎 慶太	会社役員	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
48	十勝	本別町	谷口 まどか	管理栄養士	地域活動全般	町長	令和7年3月31日	
49	釧路	厚岸町	高橋 美佐子	無職	地域活動全般	町長	令和8年3月31日	
50	釧路	鶴居村	服部 政人	団体職員	都市農村交流等	村長	令和7年3月31日	
51	釧路	鶴居村	水本 梨佳	酪農業	地域活動全般	村長	令和8年3月31日	
52	根室	別海町	水沼 和子	無職	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	
53	根室	別海町	渡邊 広美	酪農業	地域活動全般	町長	令和6年3月31日	

## 令和5年度（2023年度）北海道ふるさと・水と土指導員名簿


令和5年5月 現在

ブロック	委員（市町村）、◎会長、○副会長、△幹事、アンダーラインは女性			
道央14名	空知5名	小西 泰子 (岩見沢市)	後志1名	黒川 利光 (蘭越町)
		赤坂 卓也 (三笠市)	日高4名	田中 義光 (日高町)
金丸 大輔 (栗山町)	中川 貢 (浦河町)			
菅野 義樹 (栗山町)	以西 明美 (浦河町)			
池内 孝司 (沼田町)	西 利明 (浦河町)			
	胆振2名	△尾谷 純司 (厚真町)	石狩2名	高瀬 徹 (札幌市)
		青山 伸子 (洞爺湖町)		◎阿岸 哲広 (石狩市)
道南8名	渡島4名	佐藤 暁樹 (知内町)	檜山4名	小笠原 明彦 (江差町)
		笠松 悦子 (知内町)		△吉見 俊彦 (上ノ国町)
		田中 いずみ (七飯町)		佐々木 俊司 (厚沢部町)
		○小林 石男 (八雲町)		富樫 一仁 (せたな町)
道北14名	上川9名	中村 雅義 (幌加内町)	留萌3名	長澤 政之 (小平町)
		中江 正博 (鷹栖町)		△高野 幸子 (小平町)
		△小野寺 孝一 (当麻町)		福田 怜也 (苫前町)
		辰巳 明美 (上川町)	宗谷2名	加藤 八重子 (稚内市)
		久保 照美 (中富良野町)		嘉藤 慎 (豊富町)
		○岩永 かずえ (南富良野町)		
		鷹嘴 充子 (南富良野町)		
		小野 寿樹 (南富良野町)		
大光明 宏武 (南富良野町)				
道東17名	林-ツ8名	△馬淵 陽子 (北見市)	十勝4名	伊藤 由紀子 (帯広市)
		黒須 倫子 (北見市)		△高橋 貴子 (鹿追町)
		午来 博 (美幌町)		岡崎 慶太 (本別町)
		佐野 多希子 (津別町)		谷口 まどか (本別町)
		柳谷 亜紀子 (清里町)	釧路3名	高橋 美佐子 (厚岸町)
		久保 美恵子 (湧別町)		○服部 政人 (鶴居村)
		仲元寺 恒平 (興部町)		水本 梨佳 (鶴居村)
		石井 恭子 (雄武町)	根室2名	水沼 和子 (別海町)
				渡邊 広美 (別海町)

計53名

令和5年度 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業 事業スケジュール

R6.3

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会			第1回 6月10日									第2回 3月19日
委員による意見交換会												
指導員 関連事業		第1回 幹事会 (札幌) 5月18日			現地研修 (道央・胆振) 8月29日 ~30日  振興局・ ブロック別 会議 (道央・洞爺湖) 8月29日  振興局・ ブロック別 会議 (道北・上川) 8月1日 ~2日			現地研修 (道東・根室) 11月13日 ~14日  振興局・ ブロック別 会議 (道東・中標津) 11月13日  振興局・ ブロック別 会議 (道南・厚沢部) 11月7日 ~8日	全国研修 (東京) 12月6日 ~7日		第2回 幹事会 (札幌) 2月27日  地域づく り研修会 (札幌) 2月27日 (わらわ併用)  指導員会 (札幌) 2月28日	
その他				情報誌 里づくり 26号								情報誌 里づくり 27号
												

メルマガ「里づくり通信」(隔月、随時)

## 令和5年度（2023年度）研修事業

### 1 メルマガ「里づくり通信」の発行

- (1) 発行 隔月、随時
- (2) 内容 委員会、研修事業、指導員の活動状況等について

### 2 第1回幹事会

- (1) 日時 令和5年5月18日（木） 13:15～
- (2) 場所 かでる2.7 810A会議室
- (3) 出席者 10名（うち幹事7名）
- (4) 内容 指導員委嘱状況の報告、現地研修及び振興局・ブロック別会議の内容検討、地域づくり研修会の内容検討

### 3 現地研修

- (1) 道央・道南ブロック（胆振管内）
  - ア 日程 令和5年8月29日（火）～30日（水）
  - イ 場所 厚真町吉野集落・洞爺湖町財田集落・財田自然体験ハウス
  - ウ 出席 33名（うち指導員20名）
  - エ 内容 胆振東部地震からの復興について（尾谷指導員）、胆振東部地震での体験について（厚真町土地改良区理事早坂信一氏）、「洞爺カルデラ」の成り立ちについて（洞爺湖町役場中谷主査）、財田米ブランド推進委員会の取り組みについて（財田米ブランド推進委員会委員長塩田満氏）、現地視察、意見交換会
- (2) 道北・道東ブロック（根室管内）
  - ア 日程 令和5年11月13日（月）～14日（火）
  - イ 場所 別海町役場・JAけねべつ
  - ウ 出席 21名（うち指導員8名）
  - エ 内容 コウシ茶寮代表田中友紀子氏による講演、みるふちゃん工房久保拓伸氏による講演、現地視察、意見交換会

### 4 振興局・ブロック別会議

- (1) 道北ブロック
  - ア 日程 令和5年8月1日（火）～2日（水）
  - イ 場所 上川町
  - ウ 出席 20名（うち指導員12名）
  - エ 内容 上川町役場産業経済課松原氏による講演、EarthFriendsCamp 絹張蝦夷丸氏による講演、辰巳指導員活動報告
- (2) 道央ブロック
  - ア 日程 令和5年8月29日（火）
  - イ 場所 洞爺湖町（湖畔亭）
  - ウ 出席 12名（うち指導員5名）
  - エ 内容 各指導員からの活動報告、意見交換会
- (3) 道南ブロック
  - ア 日程 令和5年11月7日（火）～8日（水）
  - イ 場所 厚沢部町管内
  - ウ 出席 9名（うち指導員4名）
  - エ 内容 女性農業者グループ「富栄 KOKIA」の活動について、清和の丘クラブの活動について、各指導員からの活動報告、意見交換、R6現地研修について

**(4) 道東ブロック**

- ア 日 程 令和5年11月13日(月)
- イ 場 所 中標津町トーヨーグランドホテル
- ウ 出 席 10名(うち指導員4名)
- エ 内 容 各指導員からの活動報告、意見交換、R6ブロック会議について

**5 第2回幹事会**

- (1) 日 程 令和6年2月27日(火)
- (2) 内 容 次期幹事、副会長の選任、令和6年度各研修の日程等の検討

**6 地域づくり研修会**

- (1) 日 程 令和6年2月27日(火) 13:30~16:30
- (2) 場 所 TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前5階 ホール5G(オンライン併用)
- (3) 出 席 49名
- (4) 内 容
  - 第1部講演 北海道看護大学 教授 根本昌宏氏
  - 第2部パネルディスカッション
    - コーディネーター 農政部農村振興局農村設計課 課長補佐 小笠原聡彦
    - パネリスト 北海道看護大学 教授 根本昌宏氏
    - 厚真町土地改良区 理事 早坂信一氏
    - チームくしろ防災女子 代表 金子ゆかり氏

**7 指導員会**

- (1) 日 程 令和6年2月28日(水) 9:30~11:30
- (2) 場 所 第二水産ビル 4階4S会議室
- (3) 内 容 地域づくり研修会の振り返り  
令和6年度研修計画及び指導員会幹事会の体制について

**8 全国研修会**

- (1) 日 程 令和5年12月6日(水)~7日(木)
- (2) 場 所 砂防会館別館1階(オンライン併用)
- (3) 出 席 12名(うち指導員4名)
- (3) 内 容 農業・農村の多目的機能の持続的発揮に向けたシンポジウム  
多目的機能支払活動の効率的・効果的展開に向けた全国研修会

**9 情報誌「里づくり」**

26号

- (1) 発 行 令和5年7月
- (2) 部 数 2,000部
- (3) 内 容 ふる水指導員インタビュー、事業実施地区紹介、新規指導員紹介

27号

- (1) 発 行 令和6年3月
- (2) 部 数 2,000部
- (3) 内 容 地域づくりリレーインタビュー、ふる水指導員レポート、事業実施地区紹介

# 中山間ふるさと・水と土保全対策事業 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

## 事業実施計画(案)

計画期間：令和2年度～令和6年度

(令和6年度)

### 計 画 内 容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

北海道

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和6年度
現状と課題	<p>本道の農村は、農家戸数の減少や高齢化の進行などが続いており、コミュニティ機能が脆弱化し、地域の活力の低下が顕在化している。特に、中山間地域においては、農地の立地条件が悪く、生活環境等の定住条件にも恵まれないため、過疎化・高齢化が進み、担い手への農地集積が進まず遊休農地が増加するなど、農業生産活動の停滞はもとより、地域のコミュニティ機能や農業・農村の多面的機能の発揮に支障を来している状況にある。</p> <p>このため道では、農地や土地改良施設、自然環境、景観など地域の多様な資源を活かして、生態系の保全整備や都市との交流、地域の特色ある料理の開発など様々な活動を促進してきたが、地域住民が主体性を持ち持続的に活動に取り組む地域の確立に向けて気運の醸成とモデル的な活動事例の創出が必要である。</p>
事業実施の基本方針	<p>本事業では、農地や土地改良施設、自然環境、景観、伝統文化などの多様な資源を発掘し、これら資源を地域住民が主体性を持って活かした多様な活動をモデル的に実施することでその効果を検証する。</p> <p>具体的な方法としては、地域の現状把握や住民意識の醸成、明確な目標を設定した3年程度の活動計画の策定、計画に基づいた実践活動、活動の評価・検証などの地域住民による主体的な取組を支援することにより、住民の自立意識を醸成し、継続性を持った効果的な住民活動が実施されるよう促す。</p> <p>また、こうした住民活動を全道に広げるとともに、地域の様々な資源を活用した多様な住民活動を実践・指導する人材として、ふるさと・水と土指導員を委嘱し、現地見学や研修会等の意見交換の場を通して、住民活動の手法や活動意欲をこれまで以上に高め、今後の地域づくりを担う人材として、その育成に努める。</p> <p>全道各地で住民活動の活性化を図る観点から、HPや情報誌の発行などを通して、本事業における取り組みとその成果を全道に普及する。</p>
事業実施計画	<p>全道各地で地域の多様な資源を活かし住民活動が発展・継続することにより、中山間地域におけるコミュニティ機能を維持し、地域再生や地域活性化を図る。ひいては、農業・農村の有する多面的機能を良好に発揮することを目指す。</p>

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業(量)内容					総事業費
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
地域活動支援事業	道内における地域住民活動の活性化を図るため、他の地区のモデルとなるような多様な地域資源を活かした住民活動を支援する地域活動支援地区をモデル的に支援することでその効果を検証する。	①	ふる水第3-2-(1) 棚田第3-2-(1) 第3-2-(2)	地域の現状を把握し、住民の地域づくりへの意欲を醸成するため、住民の意識調査やアドバイザーを招いた勉強会などの開催、その後の地域住民活動の目標と具体的な活動内容等を定めた3年程度の活動計画の策定、計画に基づく実践活動、活動のステップアップを図るための評価・検証など地域住民が主体となった取組の支援を5ヶ年で10地区程度実施する。					
人材育成	活動の実践と地域住民活動の活性化に向けた指導・助言等を行う人材として、北海道ふるさと・水と土指導員を育成する。	②	ふる水第3-2-(2) 棚田第3-2-(1) 第3-2-(2)	多様な地域住民活動を実践・指導する人材として北海道ふるさと・水と土指導員を委嘱し、指導員相互の情報交換と地域づくりの手法等習得のための研修会や現地研修会を5ヶ年で20回程度開催する。 また、地域住民活動の活性化を図る地域をさらに広げるため、5ヶ年で10人程度新たに指導員を委嘱する。					
推進事業	事業の円滑な執行と効果的な推進、地域住民活動の拡大を図る取組を行う。	③	ふる水第3-2-(3) 棚田第3-2-(1) 第3-2-(2)	事業の進捗状況に応じた効果的な助言を得て、事業の推進を図っていくため、5ヶ年で10回程度委員会を開催する。 また、事業の成果や農業・農村が持つ多面的機能の役割が広く道民に理解され、住民意識の向上や道内各地における住民活動が活発化するよう、市町村や各種活動団体に対し、5ヶ年で10回程度、独自の情報誌を発行するほか、適宜事業の制度説明や活動事例の提供を行う。					
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
中山間ふるさと・水と土保全対策事業費（ふる水と土基金）			計画事業費 (実績額)	13,630 3,647	13,618 3,480	13,701 7,267	13,701	13,704	
中山間ふるさと・水と土保全推進事業費（棚田基金）			計画事業費 (実績額)	780 780	782 782	699 699	699	696	

### 3. 事業実施の成果目標と実績

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					達成度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①	地域活動支援事業	多様な地域資源を活かした住民活動を支援する地域活動支援地区数	10地区	2地区	1地区	0地区	0地区			
②	人材育成	指導員等の資質向上のための研修会等の開催数	20回	2回	2回	5回	5回			
		指導員の委嘱人数	10人	4人	7人	2人	2人			
③	推進事業	事業の推進に係る効果的な助言を得るための委員会の開催数	10回	2回	2回	2回	2回			
		情報誌の発行回数	10回	2回	1回	1回	2回			

### 4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考	
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針		
①	地域活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き新規地区の掘り起こしに努めること。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおりに活動できていない継続地区においても状況の把握に努め、活動内容の変更など適宜対応すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機会あるごとに事業の説明を行い、地域の多様な資源を活かした地域住民による主体的な取組を支援できるよう努める。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおりに活動が進まなかった支援活動2地区について、1年間の活動の延長することとした。引き続き、支援活動地区について当該年度計画の活動内容の見直しなど柔軟に対応する。</li> </ul>	
②	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定していた研修を概ね開催できている。引き続き、人材育成に効果的な研修のテーマなどを検討すること。</li> <li>指導員の委嘱は今後も幅広い人材発掘に努めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会等は引き続き必要に応じオンラインも併用し、研修機会を確保するよう努める。研修のテーマについてはふる水事業の推進に効果的なテーマ、議題、講師などを考慮し、開催する。</li> <li>指導員委嘱については関係機関とも連携の上、現地研修会時に直接説明するなど、積極的に人材の発掘に努める。</li> </ul>	
③	推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね計画どおり実施されている。今後も事業のPRに努めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果や農業・農村が持つ多面的機能の役割が広く道民に理解され、住民意識の向上や道内各地における住民活動が活発化するよう、情報誌発行のほか、事業の制度説明や活動事例の提供を随時行う。</li> </ul>	





**令和6年度（2024年度）**  
**北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業計画(案)**

**1 地域活動支援事業**

- (1) 実践活動地区（3地区、括弧は年次）  
本別町本別地区（4）、オホーツク広域地区（4）、洞爺湖町財田地区（3）
- (2) 住民意識醸成地区  
新規地区（2地区程度を掘り起こし）

**2 研修事業**

- (1) 指導員の委嘱（随時）
- (2) 全国研修（未定）
- (3) 地域づくり研修会（2月中旬～下旬 札幌市）
- (4) 現地研修（道北・宗谷 7月）  
（道南・渡島 11月）
- (5) 北海道ふるさと・水と土指導員会幹事会（5月中旬、2月中旬～下旬 札幌市）
- (6) 北海道ふるさと・水と土指導員会（2月中旬～下旬 札幌市）
- (7) 振興局・ブロック別会議（道央・後志 未定）  
（道南・渡島（現地研修と同時開催））  
（道北・宗谷（現地研修と同時開催））  
（道東・オホーツク 未定）
- (8) 情報誌「里づくり」の発行 2回（7月、2月）
- (9) メルマガ「里づくり通信」の配信 隔月

**3 推進事業**

- (1) 委員会の開催 2回（6月、3月）
- (2) 活動地区との意見交換  
（オホーツク広域地区、本別地区、財田地区）
- (3) ホームページの更新
  - ① 指導員プロフィール
  - ② 事業紹介、委員会記録及び活動実績等の情報
- (4) 啓発普及  
「新・田舎人」（120～123号）の配布

## 地域活動支援事業

### 令和6年度（2024年度）活動計画

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業 活動計画

【オホーツク総合振興局】

市町村名	美幌町、網走市、小清水町、津別町、大空町、北見市、滝上町	活動地区名	オホーツク広域	活動団体名	オホーツク農村ツーリズム連携会議		
活動の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動企画団体間の意見交換、情報交換を通じ、人材交流を図るとともに担当者の企画運営力のスキルアップをめざす。</li> <li>・各地域の個性や特性を活かして取り組んでいる活動企画団体の各種事業を有機的に構成し、旅行者に提供する体制を整え、オホーツク地域圏での長期滞在者増加を促進する。</li> <li>・地域間の連携を深め、地域住民の参加や協力を得ながら、体験型観光の広域的な受入体制及び教育旅行の広域的な受入体制を構築し、新たな集客を図り地域の活性化を図る。</li> </ul>						
活動の方向	No	活動の目的	活動の内容	目標(数量・定性)			
	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連携の必要性、優位性についての意思統一</li> <li>・各団体間の協力体制の強化</li> <li>・広域連携による具体的な仕組み、商品の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携会議の運営、幹事会・部会の開催</li> <li>・各団体の取組みを知り広域連携体制の構築を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携会議の運営、幹事会・部会の開催 年4回</li> </ul>			
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド、FITに対応した広域連携による農山漁村活用型の体験コンテンツ造成とガイド人材の育成</li> <li>・教育旅行に対応した体験型コンテンツ造成及び異業種連携による受入体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド、FIT対応型広域連携による体験コンテンツツアーの試験実施</li> <li>・ガイド育成、ガイドレベル向上を図る講習会等の開催</li> <li>・教育旅行における体験型コンテンツの試験実施</li> <li>・異業種間連携の意識醸成を図るセミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型コンテンツモニターツアー実施(遠紋地域と斜網地域の2回を予定)</li> <li>・各地域の野鳥場所や体験をちりばめたスタンプラリーの実施</li> </ul>			
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内広域連携による教育旅行受入体制の拡大</li> <li>・教育旅行受入体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例を学ぶ研修会等を開催し、受入農家の拡大と推進態勢の強化を図る</li> <li>・教育旅行受入体制の拡大と招致のためのモニターツアーの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内教育旅行受入状況についての情報共有</li> </ul>				
3年間の活動プロセス	関連No	令和5年度		令和5年度(変更)		令和6年度	
		内容	予算額	内容	予算額	内容	予算額
	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体を訪問する現地研修会(1回)</li> <li>・地域住民参加型の研修会開催(1回)(小計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16千円</li> <li>・56千円</li> <li>(72千円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体を訪問する現地研修会(1回)</li> <li>・地域住民参加型の研修会開催(1回)(小計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0千円</li> <li>・0千円</li> <li>(0千円)</li> </ul>		
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行ニーズ調査(1回)</li> <li>・体験コンテンツモニターツアー開催(連携機関のガイドが造成したコンテンツ)</li> <li>・体験コンテンツエリアマップ作成(小計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・75千円</li> <li>・340千円</li> <li>・160千円</li> <li>(575千円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野鳥ガイド講習会</li> <li>・体験コンテンツモニターツアー開催(連携機関のガイドが造成したコンテンツ)</li> <li>・物品購入(スコープ、双眼鏡等)(小計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10,150円</li> <li>・492,388円</li> <li>・270,000円(予定)</li> <li>(772,538円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次産業体験を含むファミツアーの開催(2回)</li> <li>・スタンプラリー実施(システム使用費、広報費用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・560千円</li> <li>・640千円</li> </ul>
	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行ニーズ調査(1回)</li> <li>・教育旅行推進研修会(1回)</li> <li>・教育旅行誘客推進意見交換会(1回)</li> <li>・教育旅行モニターツアー(バス借上料・2回)(小計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・75千円</li> <li>・119千円</li> <li>・112千円</li> <li>・210千円</li> <li>(516千円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行誘客意見交換</li> <li>・教育旅行モニターツアー(大阪高校)</li> <li>・修学旅行旅行モニターツアー(教員対象)(小計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・136,540円</li> <li>・132,120円</li> <li>・220,560円</li> <li>(489,220円)</li> </ul>		
合計		1,163千円		1,261,758円		1,200千円	
活動団体構成員 ※各協議会の構成員は別紙のとおり	美幌町	美幌町地域おこし協力隊(個人)	(株)TAISHI(道の駅ぐるっとパノラマ美幌峠)	小清水町観光協会			
	オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会(※)		津別町役場	大空町有機農業推進協議会			
	北見市農泊推進協議会(※)	滝上町観光協会					
関係機関・団体	農林水産省北海道農政事務所北見	国土交通省北海道運輸局北見運輸支局					
連携・協力機関・団体	株式会社農協観光北見支店						

令和6年度 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業  
地域活動支援事業実施計画

【オホーツク総合振興局】

市町村名	網走市、小清水町、滝上町、 美幌町、北見市	活動地区名	オホーツク広域	
活動団体名	オホーツク農村ツーリズム連携会議			
関連No.	内容	項目(費目)	金額	積算根拠
	・一次産業体験を含むファムツ アーの開催(2回)	07_報償費	200,000	体験ガイド謝金(@ 10,000円/1体験ガイ ド・10人×2回)
		11_役務費	320,000	招聘エージェント旅費 交通、宿泊費(2泊3日 @80,000円×2事業者 ×2回)
		13_使用料及び貸借料	40,000	会場費@10,000円×2 か所×2回
	・スタンプラリー実施システム使 用費、広報費用	12_委託料	330,000	JAF北見(実施場所)
		10_需用費	260,000	チラシ作成、景品代
		08_旅費	50,000	道内1泊2日(@25,000 円×2回)
合 計			1,200,000	
費目計		07_報償費	200,000	
		08_旅費	50,000	
		10_需用費	260,000	
		11_役務費	320,000	
		12_委託料	330,000	
		13_使用料及び貸借料	40,000	

別記様式第2号

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業 活動計画

【十勝総合振興局】

市町村名	本別町	活動地区名	本別地区	活動団体名	ほんべつ☆うきき未来らぼ		
活動の目標		各種団体に属さず地域活動に参加できていなかった住民同士の繋がりを創出し、コミュニティを形成する。そこから老若男女を問わず皆で地域における課題を抽出し、解決に向けた具体的な行動を起こし、住民一丸となって地域の活性化と未来に向けた持続可能なまちづくりを目指す。					
活動の方向	No.	活動の目的	活動の内容		目標（数量・定性）		
	①	住民同士の繋がりを創出し、地域における連携、協力体制を強化する。住民主体の持続可能なまちづくりに向け意識を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ほんべつ☆うきき未来らぼミーティング</li> <li>◆住民主体のまちづくりに向けた研修会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ミーティング開催（6回/年）</li> <li>◆まちづくり研修会開催（1回/年）</li> <li>◆幅広い地域住民の参加と意識の共有（随時）</li> <li>◆先進地視察による勉強会の実施（1回/年）</li> </ul>		
	②	関係人口の増加や移住者等とのコミュニティを形成し、都市と地域や地域内での交流を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体験イベントをもとに町内外の方との交流を深める。</li> <li>◆移住されてきた方等を紹介カードにて発信し地域内での活動を紹介、応援する。</li> <li>◆新たな発想で町内スポットを巡礼地化し、発信・集客を目指す。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆移住者交流イベントの開催（1回/年）</li> <li>◆イベント用ユニフォームの製作（1回/年）</li> <li>◆紹介カード作成・配布（3名/年）</li> <li>◆何かの巡礼地化を検討し、スポット探し・発信を行う（1回/3年）</li> </ul>		
	③	新たな観光資源を発掘・発信することによって町内の魅力を多くの方々に知ってもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆町内の自然を生かした様々なアクティビティーの検討開発</li> <li>◆発掘したアクティビティーの体験会の開催</li> <li>◆実証に向けた体制の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆先進地視察、各アクティビティー専門家の講演（1回/年）</li> <li>◆発掘アクティビティーの体験会の開催（1回/年）</li> </ul>		
	④	子供たちと本別だから出来る事の体験活動や地域学習を通して郷土愛を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子供たちが町を一度離れても戻ってきたいと思ってもらえるような活動をする。</li> <li>◆特産物での食育体験や屋外活動体験</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地元産食材（豆・小麦など）を使用した食育体験・メニュー開発（1回/年）</li> <li>◆屋内外スポーツ体験等の実施（1回/年）</li> </ul>		
	⑤	地元食材のアピールや町民・学生と連携したフードロス対策への取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地元産食材を活用した調味料（万能タレ）の試作・開発</li> <li>◆試食会・アンケート収集により地域での『このみ』の調査</li> <li>◆地域食材の可能性のリサーチ、食育推進計画作成検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆試作品開発会の実施（3回/年）</li> <li>◆試作品試食会・広報・アンケートの実施（1回/年）</li> <li>◆食育推進計画作成の検討会議の実施（2回/年）</li> </ul>		
	⑥	各活動の情報発信を行うことによって町内外への認知度を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各活動担当者からの活動報告をSNS等にて発信する。</li> <li>◆情報収集により各活動担当者への情報提供を行う。</li> <li>◆クリエイター等と協力して幅広い発信にてアピールする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆チラシ・SNS等への掲載・アップロード（随時）</li> <li>◆町内外の様々な情報の収集・情報提供（随時）</li> <li>◆アートを活用しての発信の検討会実施（1回/年）</li> </ul>		
3年間の活動プロセス	関連No.	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		内容	予算額	内容	予算額	内容	予算額
	①	全体ミーティング	0千円	全体ミーティング	0千円	全体ミーティング	0千円
	①	まちづくり研修会	27千円	まちづくり研修会	58千円	まちづくり研修会	60千円
	①	先進地視察	0千円	ユニフォーム制作	210千円	先進地交流視察	220千円
	②	街コンイベント	0千円	交流イベント開催	70千円	地域交流イベント開催	80千円
	②					紹介カード作成	120千円
	②	紹介カード作成	0千円	紹介カード作成	270千円		
	③			講演・体験会	104千円	アクティビティー体験会	194千円
	③	アクティビティー体験会	68千円	川のごみ拾い	48千円	川のごみ拾い	66千円
	④	食育体験	24千円	食育体験	60千円	食育体験	40千円
	④	講演会	29千円	ワークショップ体験	20千円	工場農場アクティビティー体験ツアー	80千円
	④	企業見学	0千円	写真・イラスト展	30千円	写真・イラスト展	40千円
	④	写真展	0千円	食育メニューレシピ集制作	50千円	地域食堂	30千円
	⑤	試作品開発	11千円	試作品開発	100千円	オリジナルタレ試作会	15千円
	⑤	試作品試食会	0千円	試作品試食会	50千円	オリジナルタレ開発費	140千円
	⑤	食育推進計画検討会議	0千円	食育推進計画検討会議		オリジナルタレ試食会	35千円
	⑥	広報チラシ	0千円	広報チラシ	140千円	広報チラシ	80千円
⑥	アート活用検討会	0千円					
合計		159千円		1,210千円		1,200千円	
関係機関・団体	本別町役場						
連携・協力機関・団体	本別町観光協会		本別町農業協同組合・青年部・女性部		道立農業大学校		
	本別町商工会・青年部・女性部						

## 別記様式第3号

## 令和6年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業 地域活動支援事業実施計画

【十勝総合振興局】

市町村名	本別町		活動地区名	本別地区	
活動団体名	ほんべつ☆うきうき未来らぼ				
関連No.	内容	項目(費目)	金額(円)	積算根拠	
	まちづくり研修会、 全体ミーティング	07_報償費 08_旅費	30,000 30,000	札幌～本別 1泊2日 1日バス借上費	
	先進地交流視察	13_使用料及び賃借料	220,000		
	小計		280,000		
②	交流人口イベント開催	10_需用費 13_使用料及び賃借料	45,000 35,000	A1ポスター1500円×30枚 音響スピーカー等1式 配布カード200円×600枚	
	紹介カード作成	10_需用費	120,000		
	小計		200,000		
③	フライフィッシング講習・体験会	11_役務費 13_使用料及び賃借料	72,000 42,000	24,000円×3時間 カヌー等の使用料 材料費等 ウェダー8000円×6 ライフジャケット3000円×6	
	気球体験会	13_使用料及び賃借料	80,000		
	川のごみ拾い	10_需用費	66,000		
	小計		260,000		
④	食育体験	07_報償費 10_需用費 08_旅費	20,000 15,000 5,000	5,000円×2時間×2回 材料費等 旅費	
	工場農場アクティビティ体験ツアー	10_需用費	80,000		
	写真イラスト展	10_需用費	40,000		
	地域食堂食材費	10_需用費	30,000		
	小計		190,000		
⑤	オリジナルタレ試作会	10_需用費 13_使用料及び賃借料	10,000 5,000	材料費等 会場費 材料費等 材料費等 会場費	
	オリジナルタレ開発委託費	12_委託費	140,000		
	オリジナルタレ試食会	10_需用費	25,000		
	小計	13_使用料及び賃借料	10,000		
⑥	広報チラシ	10_需用費 11_役務費	50,000 30,000	印刷代 折込代	
	小計		80,000		
合計					
		07_報償費 08_旅費 10_需用費 11_役務費 12_委託費 13_使用料及び賃借料	50,000 35,000 481,000 102,000 140,000 392,000		
			1,200,000		

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業 活動計画

【胆振総合振興局】

市町村名	洞爺湖町		活動地区名	財田地区		活動団体名	財田米ブランド推進委員会			
活動の目標	当地区で生産されている財田米について学ぶ機会を設け、近隣地域住民や子供たちの地域産業に対する理解の醸成を図る。また、先人たちが築き上げてきた「財田米」への誇りや愛着を育むことで生産者の意欲向上と集落機能の維持につなげる。 財田米の付加価値向上に向けた取組とPR活動を行い、認知度及び地域ブランド力の向上や顧客満足度の上昇、洞爺湖町への観光客の入り込み増を目指し、地域の活性化につなげる。									
活動の方向	No	活動の目的		活動の内容		目標(数量・定性)				
	①	・財田米の啓蒙活動による付加価値向上への取り組み ・財田米の地産地消への取り組み		・HP、ポスター、パンフレット等活用によるPR ・プロモーションビデオの製作 ・地元女性を講師に財田米に合う惣菜(おかず、ご飯のお供)研修会開催と消費者へのメニュー配布		・HPの開設、SNSの更新(随時) ・ポスター作成 必要に応じて計上 ・パンフレット、ステッカー作成 必要に応じて計上 ・財田米に合う料理研修会開催 1回/年				
	②	子供から大人までを対象とした食育の展開による地産地消活動を推進し、財田米に対する理解の醸成を図る		・地元小学生や園児を対象とした食育活動(田植え、稲刈り体験等)※洞爺地区 ・財田米の寄贈による食育活動(虻田地区、洞爺湖温泉地区の小・中・高に財田米新米を寄贈し、学校給食に活用してもらう)		・体験学習 2回/年(洞爺地区) ・財田米の給食による提供(虻田・洞爺湖温泉)				
③	財田米の安定販売に向けた認知度向上への取り組み		・都市部での認知度向上のためのPR活動 ・地域イベント(洞爺湖マラソン、大収穫祭等)を活用した試食会等の開催 ・財田米を使用している店(地元飲食店・直売所)の紹介MAP作成		・都市部での認知度向上のためのPR事業 1回/年 ・試食会の開催 2回/年 ・紹介MAPの作成 6,000枚/年					
3年間の活動プロセス	関連No	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
		内容		予算額	内容		予算額	内容		予算額
	①	・HPの開設 ・ポスター、パンフレット、ステッカー等作成		980千円	・パンフレット、ステッカー等増刷 ・地元女性を講師に財田米に合う惣菜等の研修会開催		・423千円 ・137千円	・ステッカーの増刷、トートバッグの作成		・540千円
	②	・地元小学生や園児を対象とした食育活動(田植え、稲刈り体験等)		20千円	・地元小学生を対象とした食育活動(田植え、稲刈り体験等)		0千円	・地元小学生や園児を対象とした食育活動(田植え、稲刈り体験等) ・虻田地区における食育活動及び期間限定での学校給食への活用		・0千円 ・105千円
③				・都市部での認知度向上のためのPR活動(※農業農村ふれあいフェスタin赤れんが) ・地域イベントを活用した試食会等の開催(洞爺湖マラソン)		・227千円 ・200千円	・都市部での認知度向上のためのPR活動 ・地域イベントを活用した試食会等の開催(洞爺湖マラソン、大収穫祭etc) ・財田米を販売・提供している店の紹介MAPの作成 ・財田米の美味しさを評価する分析の実施		・170千円 ・155千円 ・170千円 ・60千円	
関係機関・団体	洞爺湖町役場		胆振農業改良普及センター		洞爺湖町教育委員会		洞爺湖町観光協会			
連携・協力機関・団体	とうや湖農業協同組合									



令和6年度 北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業  
地域活動支援事業実施計画

【胆振総合振興局】

市町村名	洞爺湖町	活動地区名	財田地区	
活動団体名	財田米ブランド推進委員会			
関連No.	内容	項目(費目)	金額	積算根拠
①	・財田米PRに向けたパンフレット、ステッカー等の作成	10_需用費	120,000	PR用ステッカー(60mm×60mm)印刷代(1枚単価6円×20,000枚)
		10_需用費	210,000	PR用ステッカー(40mm×40mm)印刷代(1枚単価6円×35,000枚)
		10_需用費	210,000	トートバック作成費用(1個600円×350個)
②	・食育活動及び期間限定での学校給食への活用	10_需用費	105,000	450人(虻田地区の小中高)×10日×65g/杯=300kg 給食活用の財田米買い上げ費用(ななつぼし3,500円/10kg×30袋)
③	・地域イベントを活用した試食ブースの設置	10_需用費	45,000	イベント用の財田米買い上げ費用 1回分(ゆめびりか4,000円/10kg×6袋、ななつぼし3,500円/10kg×6袋)
		10_需用費	110,000	のぼりの作成費用(5,500円×20本)
③	・都市部での認知度向上のためのPR活動	10_需用費	15,000	イベント用の財田米買い上げ費用 1回分(ゆめびりか170円/300g×50袋、ななつぼし130円/300g×50袋)
		10_需用費	45,000	イベント用の財田米買い上げ費用 1回分(ゆめびりか4,000円/10kg×6袋、ななつぼし3,500円/10kg×6袋)
		08_旅費	80,000	財田米ブランド推進委員会 委員旅費(1名当たりの日当(1泊2日)13,100円+バス往復代金6,900円)×4名分
		13_使用料及び貸借料	30,000	販売促進イベント用の販売場所賃貸料(1日30,000円×1日間)
③	・財田米を使用した地元飲食店及び直売所PRのための紹介MAP作成	10_需用費	60,000	紹介MAP印刷代(1枚単価10円×6,000枚)
		10_需用費	110,000	のぼりの作成費用(5,500円×20本)
③	・生産者ごとの財田米を分析することで、食味などの米の中身評価を実施	11_役務費	60,000	分析依頼手数料 5,000円×12戸=60,000円
合計			1,200,000	
費目計		07_報償費	0	
		08_旅費	80,000	
		10_需用費	1,030,000	
		11_役務費	60,000	
		13_使用料及び貸借料	30,000	